

法政大学大学院
入学試験 解答又は解答例、出題の意図

試験科目	人文科学研究科 日本文学専攻 修士課程《外国人》	2026年度 秋季
専門科目		

《解答又は解答例》

[1] ①日本書紀

漢文体で書かれた日本最初の勅撰の歴史書。全30巻。養老4年(720)、舎人親王編で朝廷に献じられた。

②和漢朗詠集

平安中期の詩歌集。藤原公任撰。古来の和歌と漢詩句のすぐれたものを選び、上巻四季、下巻雑から成る。詩歌の詠作の軌範として広く流布し、多くの作品に引用された。

③源平盛衰記

鎌倉時代の軍記物語。『平家物語』の異本の一つで、源平の興亡、盛衰を多くの挿話、伝説、故事をまじえつつ描く。

④室町物語

室町時代から江戸初期にかけて作られた短編の物語。写本、絵巻物、奈良絵本として伝わったが、江戸時代、そのうちの二三編が「御伽文庫」として刊行されたことから「御伽草子」とも通称された。

⑤国性爺合戦

近松門左衛門作の人形浄瑠璃。中国明代末の鄭成功の史実に基づき、日本に亡命した鄭芝龍の子和藤内(国性爺)が明朝の再興を図るという筋立てが人気を博し、歌舞伎にもなり、多くの文芸に影響を与えた。

⑥好色五人女

井原西鶴作、江戸時代の浮世草子。五巻五冊。当時著名な巷説に取材し、お夏清十郎、樽屋おせん、おさん茂右衛門、八百屋お七、おまん源五兵衛の五組の恋愛・姦通事件を描く。

[2] ①森鴎外

明治～大正期の小説家。軍医を務める一方、翻訳・創作などの多彩な文学活動を展開。小説「舞姫」「青年」「雁」などで知られる。

②志賀直哉

大正～昭和の小説家。武者小路実篤らと雑誌「白樺」を創刊、白樺派の中心的作家として活動。「清兵衛と瓢箪」「城の崎にて」「和解」「暗夜行路」などで知られる。

③与謝野晶子

法政大学大学院
入学試験 解答又は解答例、出題の意図

試験科目	人文科学研究科 日本文学専攻 修士課程《外国人》	2026年度 秋季
専門科目		

明治～昭和前期の歌人。「明星」に詩歌を発表。大胆な官能の解放を歌い、その奔放で情熱的な作風で知られ、また、古典の研究にも業績を残した。

④林芙美子

昭和前期の小説家。「放浪記」を発表、出世作となる。庶民の生活を題材にした自伝的作品が多い。

⑤宮沢賢治

大正～昭和前期の詩人、童話作家。農民生活の向上に尽くすかたわら、東北地方の自然と生活を題材に、詩や童話を書いた。詩集「春と修羅」、童話「注文の多い料理店」「風の又三郎」「銀河鉄道の夜」などで知られる。詩「雨ニモマケズ」は特に有名。

⑥坂口安吾

昭和前期の小説家。第二次世界大戦直後、いわゆる新戯作派の一人として活躍。「白痴」「墮落論」などで流行作家となる。

〔3〕①歴史的仮名遣い

日本古典文学の表記法。主に平安中期以前の万葉仮名の文献に基準をおいた契沖の『和字正濫鈔』の方式によるものをいう。

②変体仮名

現在の字体と異なるひらがなで近世まで広く行われた。明治33年(1900)小学校令施行規則で採用されたひらがなと比べて、字源またはくずし方を異にする。

③返り点

漢文を日本語として読むとき、読む順序を示すため、漢字の左下隅につける符号。レ、一・二・三、上・中・下、甲・乙・丙など。

④七五調

和歌から発展した日本語の音数律の一形式。七音節句、五音節句を反復するもので、調子のよいものとして歌謡、語り物などに広く用いられる。

⑤言文一致

明治期に話しことばに近い形で文章が書くことをめざす運動によって生み出され、さまざまな試行を経て明治35年(1902)ごろ一応の完成をみた。

法政大学大学院
入学試験 解答又は解答例、出題の意図

試験科目	人文科学研究科 日本文学専攻 修士課程《外国人》	2026年度 秋季
専門科目		

⑥季語

連歌、俳諧、俳句で、四季それぞれの季節感を表わすために、句によみこむ多種多様な語。
『歳時記』によって知られる。

[4] 学力検査にあたらぬ問題のため、解答又は解答例はありません。

《出題の意図》

[1] ～ [3] 日本語・日本文学の専門的知識を問う。

[4] 学力検査にあたらぬ問題のため、出題の意図はありません。